

環境調査（河川・海域・大気）測定調査結果

町では、河川・海域などの水質や大気の状態を把握するため、毎年環境調査を実施しています。昨年度の各種調査結果は下表のとおりでした。

河川水質調査結果

河川名	測定地点	pH (単位：なし)		BOD (単位：mg/ℓ)		SS (単位：mg/ℓ)		n-ヘキサン (単位：mg/ℓ)	
		30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
池田排水路	富士白苑付近	8.6	9.1	4.1	3.2	8.0	4.0	<0.5	<0.5
三 沢 川	富士白苑付近	8.5	8.6	2.6	3.5	3.0	3.0	<0.5	<0.5
嶋 立 川	嶋立橋	7.9	8.1	4.6	4.3	2.0	1.0	<0.5	<0.5
血 洗 川	河口付近	8.1	8.1	3.5	3.9	2.0	2.0	<0.5	<0.5
葛 川	プリンスホテル付近	8.1	8.2	1.9	3.1	3.0	4.0	<0.5	<0.5
不 動 川	川尻公園付近	8.1	8.2	3.0	4.6	5.0	6.0	<0.5	<0.5
長 谷 川	スーパーヤマサ付近	8.0	8.0	3.9	3.4	3.0	7.0	<0.5	<0.5
谷 戸 川	月京橋付近	8.7	8.8	3.7	4.1	3.0	4.0	<0.5	<0.5
金 目 川	花水橋付近	7.8	7.8	1.2	1.2	8.0	5.2	<0.5	<0.5
環境基準	—	6.5～8.5		5以下		50以下		—	

※数値は年度内平均値、<印は定量下限値未満を示す。※金目川は神奈川県がそれぞれ前年度に測定した結果です。

海域水質調査結果

測定地点	pH (単位：なし)		COD (単位：mg/ℓ)		DO (単位：mg/ℓ)		n-ヘキサン (単位：mg/ℓ)		大腸菌 (単位：MPN/100mℓ)	
	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度
中 央	8.3	8.2	3.0	1.8	9.5	8.6	0.5未満	0.5未満	170	18
漁 港	8.3	8.2	4.4	1.7	9.7	7.4	0.5未満	0.5未満	110	110
港 外	8.2	8.2	3.2	2.8	8.5	8.7	0.5未満	0.5未満	1300	2未満
環境基準	7.8～8.3		2以下		7.5以上		無検出		1,000以下	

※数値は年度内平均値

二酸化窒素濃度調査結果

測定地点	単位：ppm	
	30年度	29年度
役場南側	0.013	0.010
図書館前	0.011	0.014
国府支所	0.016	0.020

※数値は1時間値の日平均値

◎環境基準：
0.04～0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下

◎測定方法：
ザルツマン試薬を用いる吸光度法

◎採取時間：
12:00～翌日の12:00までの24時間

問環境課（美化センター内）
☎(72)4438

用語の解説

◎pH（水素イオン濃度）

溶液中の水素イオン濃度を表す記号で水素イオン指数ともいう。
pHは、0から14まであり、7が中性、7を超えるとアルカリ性、7未満が酸性となる。

◎BOD（生物化学的酸素要求量）

水中の有機物質（汚物）が一定条件のもとで微生物によって分解されるときに消費される酸素の量。

◎COD（化学的酸素要求量）

水中の有機物質が酸化剤によって酸化されるときに消費される酸素の量。

◎SS（浮遊物質）

水中に懸濁している固体や浮遊固形物。

◎DO（溶存酸素量）

水中に溶け込んでいる酸素の量。
きれいな河川は通常7～10mg/ℓ程度である。

◎n-ヘキサン（n-ヘキサン抽出物質）

水中に含まれている比較的揮発しにくい油状物質の量。

◎大腸菌群

人畜の排出物などによる汚れを知る尺度で、各消化器系病原菌によって汚染されている可能性が高い。

◎ppm

濃度の単位で、100万分の1を表す。

◎環境基準

人間の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準。（いわゆる規制基準ではない。）

クールビズで涼しく

～実施中～

地球温暖化防止対策及び節電対策の一環として、町職員のクールビズを実施しています。

実施期間は10月31日（木）までです。

期間中、職員は半袖シャツ・ノーネクタイ等の軽装で執務します。

問総務課 ☎内線209

